

総合文化研究所「文化の多様性」プロジェクト



オペラ《The Passenger》 DVD (英語字幕) 上映会

2019年11月6日(水)

14:00 -18:00

東京外国語大学 本部管理棟2階 大会議室

入場無料

アウシュヴィッツ強制収容所でナチス親衛隊として看守を務めていたリーザ。戦後15年を経て外交官夫人としてブラジルへ渡る客船で、かつて自分が監督していた囚人マルタによく似た女性を見かけ、激しく動揺する…。

このオペラは、ポーランドの作家 Zofia Posmysz の小説《Pasażerka》(1962) を原作とし、ポーランド系ソ連の作曲家 Mieczyslaw Weinberg (Мойсей Вайнберг) が作曲したものの(1968)。ポスムイシ自身、3年間ナチスの収容所にいられていたサバイバー。ワインベルクはナチスに追われてソ連に逃亡したが、スターリン体制の抑圧を被る。ショスタコーヴィチと親交を結び、彼の援助と影響を受けた。邦訳は、ゾフィア・ポスムイシ『パサジェルカ〈女船客〉他』佐藤清郎訳(恒文社、1990)。

オペラ上映前に 西成彦(にしまさひこ)立命館大学教授による解説があります。

主催：東京外国語大学 総合文化研究所

共催：科研費(B)「ロシア・ウクライナ・ベラルーシの交錯——

東スラヴ文化圏の領域横断的研究」(代表：沼野恭子、18H00676)

お問合せ：nukyoko@tufs.ac.jp